

## 特別支援学級（すみれ1）国語科学習指導案

学 級 すみれ1組 4年男3名 3年女1名 計4名  
授業者 菅野 フミ子

1 単元名 説明文のひみつブックをつくろう

2 教材名 共通教材「すがたをかえる大豆」3年教材「食べ物のひみつ教えます」（光村3年 下）  
4年教材「アップとルーズで伝える」（光村4年 下）

### 3 単元について

#### （1）児童について

本学習グループは、知的障がい、自閉症・情緒障がいの児童が在籍している。広汎性発達障がいの3年女児1名、知的発達障がいの4年男児2名、自閉症スペクトラムの男児1名の計4名で学習している。（指導にあたってを参照）

これまで3年女児の学習は、音読・漢字練習を中心に進め、読めるようになった教材については、簡単な内容を捉える学習を行ってきた。4年男児3名は、漢字の読み方、語のまとまりに気をつけながら音読を中心に学習をしてきた。繰り返し取り組むが、目で文字を正しく追うことが苦手で、読み間違いが多く、すらすらと音読するのは難しい。教わって読めた漢字も直後に同じ漢字が出てきても読み方が分からないことがある。また、内容の読みとりについては、1回の学習だけで目標を達成することは難しく、同じ題材を何度も繰り返し学習することにより目標に近づくことができる。

さらに、話すことについては、スムーズな会話ができる児童は少なく、発音が不明瞭であったり、助詞の使い方があいまいであったりするため、自分の思いをうまく伝えることができないことが多い。また、質問されたことに合った返答ができず、自分の思いだけを一方的に話してしまうことがある。

国語科の学習の様子は以下のとおりである。

国語科の学習の様子	
A 女 (自・情) 3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習を繰り返すと3年の教科書を音読することができる。</li> <li>・一部の発音が不明瞭である。</li> <li>・視写や板書を正しく書き写すことができる。</li> <li>・漢字を練習し8割程度書くことができる。</li> <li>・内容について簡単な発問に答えることができる。</li> <li>・よそ見をしたり興味は他に移ったりして話を聞き逃す事が多い。最後まで聞かずに自分の思いで行動に移ることがあるため、ルールを理解していない場合がある。</li> </ul>
B 男 (自・情) 4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読するときには言葉の句切りが理解できず、文字を抜かしたり、足したりして読み間違いが多い。</li> <li>・内容の理解が難しい。何か思いついたことを言ってみて、はずれたら別のをいってみるといったような答え方をする。</li> <li>・聞き間違い、聞き逃しが多い。</li> <li>・交流学級では周りの動きを見て一緒に活動することができるが、分からなくても訴えることが少ないので、支援が必要である。</li> <li>・ノートの字が雑になる。</li> </ul>
C 男 (知) 4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習を繰り返すと4年の教科書を音読することができる。</li> <li>・内容の理解は難しい。</li> <li>・板書を間違えずにノートに書き写すことができる。</li> <li>・発言することは少ない。分からなくても訴えることが少ない。</li> <li>・言語的な知識を蓄えることや、自分の考えを言葉で表現することは苦手である。</li> </ul>
D 男 (知) 4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発音が不明瞭である。</li> <li>・4年の教科書を音読することができるが、始めは、言葉のまとまりで句切って音読することが難しい。</li> <li>・内容をとらえることは難しい。</li> <li>・学習した漢字を6割程度書くことができる。（数回練習後）</li> </ul>

## (2)教材について

3年の教材文「すがたをかえる大豆」は大豆がいろいろな食品に姿を変え、私たちの食生活に密接に関係していることを紹介している文章である。文章構成は、既習教材である「言葉で遊ぶ」「こまを楽しむ」と同じく「はじめ」「中」「終わり」という組み立てになっている。また、「中」の段落は五つの事例で説明している典型的な解説型の文章で、各段落が並列の関係にあり、最初の文が説明の中心となる文になっている。このような点に着目しながら、簡単な文章構成を意識して読む力をつけていく。続く「食べ物のひみつを教えます」では、読み手にとって分かりやすい説明文を書く力をつけるために、先行する「すがたをかえる大豆」の読みとりで学習した説明のしかたをふまえ、絵と本文を対応させながら書く学習をする。

4年の教材文「アップとルーズで伝える」は、写真と文章を対応させて読みながら、対比的な段落関係をつかみ、それを含んだ文章全体の構成を捉えることを行う。児童の実態からすると難しい内容ではあるが、3年生の説明文との違いに気づくことで、5学年の学習への土台としたい。

## (3)指導にあたって

本学習グループの児童の実態を踏まえ、3年生の目標・内容を中心に指導する。普段の国語の授業は、学年別々に複式の形態で学習している。そのため、3年生の児童1名は、他の児童の学習内容を意識したり、お互いに刺激しあったりすることはない。そこで、本単元を学習するにあたり他の児童と関わり合いながら学習する機会を設定しようと考え、共通の題材で学習する場面を一部設定することとした。3年生と4年生の4つの教材の中から、「すがたをかえる大豆」を共通教材として4人で学習し、その後3年生は「食べ物のひみつ教えます」へ、4年生は「アップとルーズで伝える」の学習へ進む。4年生の「『クラブ活動リーフレット』を作ろう」は音読と漢字の学習をする。

二つの学年とも共通してつきたい力は、説明の工夫に目をつけながら読む力である。中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を読む力をつけていく。そのために、二つの学年とも筆者が「読み手に分かりやすく伝えるための工夫」を見つけ出し、それを「説明文のひみつブック」としてまとめる言語活動を設定した。

指導計画を通常学級では14時間扱いの単元であるが、1時間増やし15時間扱いとした。一次では、通常学級では扱わないであろうが、1年生からの既習の説明文を想起したり、1学期教材の学習でつけた力を想起させ、導入段階を丁寧に扱う。その上でこれから学習する説明文の筆者はどんな工夫をして書いているのか、「読み手に分かりやすい文章の書き方のひみつを見つけ出そう」と働きかけて学習に入る。そして「説明文のひみつブック」を作ろうという単元のゴールに意識を向けたい。

二次の共通教材「すがたをかえる大豆」では、大豆がいろいろな食品にすがたをかえていることを読み取っていきながら、毎時間説明の工夫を見つける活動を設定する。自力解決や全体交流の場を設定し、自分の考えを持ったり友達の意見を聞いたりする力を育てていきたい。

三次では3年生と4年生別々の教材で学習する。3年生では、「食べ物のひみつブック」として読み手に分かりやすい文章を書く活動を設定した。目的に適した事例を複数挙げながら、読み手にとって分かりやすい文章を書くことができるようにする。4年生は、「アップとルーズで伝える」を読み取る。共通教材で学んだ説明文の工夫に加え、対比関係や文末表現に意識を向け、説明文の工夫の仕方をさらに学んでいく。

国語に限ったことではないが、支援学級として児童が安心して参加できるようにするために日常的に行っていることは、単位時間の始めに活動内容を示すカードを提示し、見通しをもたせることである。また、言葉だけではイメージを持っていないので、挿絵や写真を用意したり、紙板書の色をかえて視覚的に捉えることができるようにしている。さらに、個人差が大きいという実態を踏まえ、個別に声をかけたり、ヒントや選択肢を与えたり、個人差に応じた学習シートを作成したりする。

#### 4 単元の見目

- 中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。 (読むこと)
- 内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら、読むことができる。 (読むこと)

#### 5 指導計画 (全15時間 ※通常学級では14時間)

次	時	学 習 活 動	指導の手だて ☆評価 (方法)
つかむ (二次)	1	・既習の説明文をふり返る	・既習の教材文の一覧表を準備する。
	2	・大豆を使った食品について考える ・「すがたをかえる大豆」を通読しておおまかな内容を捉える。 ・学習課題を確かめ、学習計画を立てる。	・教材への興味・関心を高められるように教科書にでてくる食品を準備する ☆文章を通読して、おおまかな内容を捉えている。 (発言・シート)
わかる (第二次)	3	・段落わけを確かめ、文章全体の組み立てを捉える	・「初め」「中」「終わり」の各部分に書かれていることを確認する。
	4	・「初め」と「終わり」を読んで、内容を確かめる。 ・「問い」がないことについて考え、「初め」の役割と文章全体の話題を捉える。	☆「問い」を含まない話題提示の「初め」の働きについて理解している。 (発言・シート)
	5	・事例や言葉に注意して「中」を詳しく読む。	・中心となる文が段落の最初にあることを確認する。
7 (本時)	6		☆段落の中心となる文を捉えている。 (発言・シート)
	7	・「中」を読んで、説明のしかたの工夫をみつける。	・学習してきたことを「説明の工夫」という観点で整理する。 ☆説明の工夫について話し合い、まとめている。 (シート)

#### 5-① 指導計画3年

次	時	学 習 活 動	指導の手だて ☆評価 (方法)
活かす (第三次)	8	・学習課題を設定し、学習計画を立てる	・調べる学習がスムーズに進むように図書資料を準備する ☆文章を書くまでの流れを理解して学習計画を立てている。 (発言・シート)
	9	・調べたい材料を選び、どんな食品にすがたを替えているか調べる。	・何について調べたいのかをカードに書くことで、課題を明確にする。 ☆食べ物について関心をもち、課題に合わせて調べようとしている。 (発言・シート)
	10		
	11	・「はじめ」「中」「終わり」の組み立てを考えて文章構成表にまとめる	・情報を書いた付箋やカードを移動したり、順番を書きこんだりしながら進める。 ☆取材した内容を取捨選択して順序に注意して組み立てを考えている。 (シート)
12	・事例を挙げながら表現を工夫して文章をかく。	・下書き用として3枚の用紙に文章を書くようにしむける。 ☆適切に事例を挙げて説明する文章を書い	

		ている。(文章)
13	・書いた物を読み合い、分かりやすい説明にするために助言し合い清書する。	・分かりやすく説明している所とアドバイスを書く付箋紙を用意し、書くための十分な時間をとる。 ☆自分の書き方と人の書き方を比べ、上手に説明しているところに気づいている。(発言・付箋紙)
14	・完成した文章を読み合い、互いの良いところについて伝え合う。	・感想がでない時は、教師が手本をみせる。 ☆分かりやすい文章にするための工夫について理解している。(発言・シート)
15	・学習をふり返り、これから活かしていけることを考える。	・今まで私用したノートや原稿用紙を手元におきふりに活かしたい。 ☆分かりやすく説明するための工夫についてまとめている。(発言・シート)

### 5-② 指導計画4年

次時	学 習 活 動	指導の手だて ☆評価 (方法)	
活かす (第三次)	8	・それぞれの写真を見て、気がついたことを話し合う。 ・学習計画を立てる。	・題名に着目させ、何についての文章なのかを考える場を設定する。 ☆説明文の書き方に興味をもち、説明の特徴を見つけようとしている。(発言)
	9	・3段落と1・2段落の関係を捉える	・2枚の写真の説明が書かれている文の選択肢を与える。 ☆写真と文章を対応させながら読み、筆者の説明のしかたの工夫を見つけている。(シート・発言)
	10	・4～6段落の関係を捉える。	・それぞれの特徴について、逆接をつかって長所と短所が書かれていることと、「このように」の接続詞でまとめていることに気づくようにしむける。 ☆4段落から6段落までで、筆者の説明のしかたの工夫を見つけている。(シート・発言)
	11	・7・8段落を読み、その役割について考える。	・各段落の内容を短い言葉でまとめていく。 ☆文章全体の構成をだいたいつかんでいる。(シート・発言)
	12	・全文を読み返し、各段落の文章全体に果たす役割を考える	
	13	・筆者が用いている説明の工夫についてまとめる。	・これまでの学習の中で、見つけてきた筆者の説明の工夫を改めて全体で確認する。 ☆写真と文章の対応関係や説明の工夫について考えている。(シート)
	14	・アップとルーズの使い方をを見つけ、説明	・身近な写真を用意しておき、同じ写真でも受ける印象によって題名の付け方が違うことに気づくようにしむける。 ☆新聞や雑誌などから「アップ」と「ルーズ」の使い方の意図やそのよさについて考えている。(シート・発言)
	15	・学習をふり返りまとめる。	

6 本時の指導(7 / 15 時間)

(1) 本時の目標

A児 B児 C児

- ・「中」の段落の内容から説明のしかたの工夫を2つ以上見つけることができる。

D児

- ・説明のしかたの工夫をワークシートに正しく書き写すことができる

(2) 展開

段	学 習 活 動 ◆予想される児童の反応	○指導上の留意点 *個別の支援と【評価】
つ	1 本時の流れを確認する	○見通しをもって参加するために活動内容カードを提示する。 ○前時までの学習を想起しやすくするために紙板書を掲示する。  *書く前に字が雑にならないように声をかける。  ○ふりがな付きの音読プリントを使い、漢字に対する抵抗感を軽減する ○集中して聞く力をつけるために4人で丸読み交替する
か	2 前時の想起	
む	3 課題の確認 課題 「説明文のひみつブック」に「ひみつのたね」をいれよう。	
7分	4 音読する。	
深める	5 説明文の「ひみつ」をみつけよう (1) 3時間目でみつけた「ひみつのたね」を確かめる ◆「初め」「中」「終わり」のまとめり ◆問いの文がない→話題提示 ◆まとめの接続詞「このように」  (2) 前時の想起 「中」の3～7段落から「おいしく食べるくふう」を確かめる ◆炒る 煮る ◆粉 ◆栄養取り出し ◆小さな生物 ◆取り入れ時期 育て方	○教科書と同じ文章の拡大版を用意し、視覚的にとらえることができるようにする。  ○どのような工夫があるか、どのような食品があるかにしぼって読み取ったことを確認する。
30分	(3) 「中」の3～7段落から「ひみつのたね」をさがす ◆写真があると分かりやすい ◆つなぎ言葉をつかっている ◆どの段落も「くふう」を先に書いている ◆分かりやすい順番に食品が並んでいる	○「くふう」と「食品名」が視覚的に分かるように、サイドラインの色を変える。 ○前の学年の教材文の掲示物をヒントに考える。 ○作り方に目をむけ、手の加え方が少なく短時間でできる物から手が多くかかり時間がかかる物へと変化していることに気づくようにしむける。
	6 「ひみつのたね」4つをカードにまとめる	【評価】 「中」の段落の内容から説明のしかたの工夫を2つ以上見つけることができる。

		<p>*書く量を軽減したシートを配布する。</p> <p>*書くのに時間がかかるので、板書を読んであげる。</p> <p>*字が雑にならないように書き始める前に声をかける。</p> <p>*ワークシートのどこを見て良いか迷っているときは指し示して支援する。</p> <p>○誤字脱字を見直す時間を確保する。</p> <p>【評価】</p> <p>ワークシートに正しく書き写すことができる。</p>
まとめ 8分	<p>7 本時のふり返し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート記入</li> <li>ふり返し発表</li> </ul> <p>8 次時予告</p>	<p>○児童のふり返しから、次時への意欲づけを行う。</p> <p>*何を書いていいか迷っているときは振り返りの視点をみて書くようにしむける。</p> <p>*誤字脱字丁寧さを見直す時間を確保する。</p>

(3) 板書計画

<p>ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真と文作り方が分かりやすい食品から</li> <li>つなぎ言葉</li> <li>中心文と食品のいいくり返し語句(キーワード)</li> </ul> <p>まとめ</p>	<table border="1"> <tr> <td>おわり</td> <td colspan="3">な</td> <td colspan="2">か</td> <td>はじめ</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>⑦</td> <td>⑥</td> <td>⑤</td> <td>④</td> <td>③</td> <td>②①</td> </tr> <tr> <td>うこのよ</td> <td>にのほから</td> <td>これら</td> <td>さらに</td> <td>また</td> <td>次に</td> <td>話題</td> </tr> <tr> <td>理由</td> <td>多くの食べ方が考えられた</td> <td>取り入れ時期や育て方もやし</td> <td>ちがう食品にする</td> <td>えいようを取り出す</td> <td>こなにして食べる</td> <td>大豆のせつめい</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>えだ豆</td> <td>みそ</td> <td>とうふ</td> <td>きなこ</td> <td>写真</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>写真</td> <td>写真</td> <td>写真</td> <td>写真</td> <td>写真</td> </tr> </table>	おわり	な			か		はじめ	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②①	うこのよ	にのほから	これら	さらに	また	次に	話題	理由	多くの食べ方が考えられた	取り入れ時期や育て方もやし	ちがう食品にする	えいようを取り出す	こなにして食べる	大豆のせつめい			えだ豆	みそ	とうふ	きなこ	写真			写真	写真	写真	写真	写真	<p>課題 「すがたをかえる大豆」 国分牧衛</p> <p>②から⑦段落を読んで、説明文のひみつブックにひみつのたねを入れよう</p>
	おわり	な			か		はじめ																																					
⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②①																																						
うこのよ	にのほから	これら	さらに	また	次に	話題																																						
理由	多くの食べ方が考えられた	取り入れ時期や育て方もやし	ちがう食品にする	えいようを取り出す	こなにして食べる	大豆のせつめい																																						
		えだ豆	みそ	とうふ	きなこ	写真																																						
		写真	写真	写真	写真	写真																																						

(4) 座席表

